

事前伺い

[平成21年度設置]

計画の区分：研究科の専攻設置

注1

鹿児島大学大学院 連合農学研究科 生物生産科学専攻、
応用生命科学専攻、農水圏資源環境科学専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 鹿児島大学
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務部総務課
職名・氏名	法規調査係長 <small>ヤマシタ</small> 山下 <small>ケンイチロウ</small> 憲一郎
電話番号	099-285-7066
（夜間）	099-285-7066
F A X	099-285-7034
e-mail	sshouki@kuas.kagoshima-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

目 次

1	調査対象大学等の概要等	
	(1) 設置者	1
	(2) 大学名	1
	(3) 大学の位置	1
	(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等	2
	(4) -①調査対象研究科等の名称, 定員	2
	(4) -②調査対象研究科等の入学者の状況	2
	(4) -③調査対象研究科等の在学者の状況	3
	(4) -④調査対象研究科等の退学者等の状況	4
2	授業科目の概要	
	〈連合農学研究科 生物生産科学専攻 (博士後期課程) 〉	
	(1) 授業科目表	6
	(2) 授業科目数	6
	(3) 未開講科目	7
	(4) 廃止科目	7
	(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	7
	(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	7
	〈連合農学研究科 応用生命科学専攻 (博士後期課程) 〉	
	(1) 授業科目表	8
	(2) 授業科目数	8
	(3) 未開講科目	9
	(4) 廃止科目	9
	(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	9
	(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	9
	〈連合農学研究科 農水圏資源環境科学専攻 (博士後期課程) 〉	
	(1) 授業科目表	10
	(2) 授業科目数	10
	(3) 未開講科目	11
	(4) 廃止科目	11
	(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	11
	(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	11
3	既設大学等の状況	12
4	教員組織の状況	13
5	その他全般的事項	
	情報提供に関する事項	14

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 鹿児島大学

(2) 大学名

鹿児島大学

(3) 大学の位置

〒890-0065
鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21番24号

(注) 『(3) 大学の位置』は、対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成19年度開設の博士後期課程の場合(平成21年度までの3年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
連合農学研究科 生物生産科学専攻 (博士後期課程) 博士(農学)(水産学)(学術)	3年	7人	7人	
応用生命科学専攻 (博士後期課程) 博士(農学)(水産学)(学術)	3	8	8	
農水圏資源環境科学専攻 (博士後期課程) 博士(農学)(水産学)(学術)	3	8	8	

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

生物生産科学専攻(博士後期課程)

報告年度 区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	(0) 7人	() 人	() 人	1.43倍	
志願者数	(1) 10	()	()		
受験者数	(1) 10	()	()		
合格者数	(1) 10	()	()		
B 入学者数	(1) 10	()	()		
入学定員超過率 B/A	(-) 1.43	()	()		

応用生命科学専攻(博士後期課程)

報告年度 区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	(3) 8人	() 人	() 人	0.88倍	
志願者数	(3) 7	()	()		
受験者数	(3) 7	()	()		
合格者数	(3) 7	()	()		
B 入学者数	(3) 7	()	()		
入学定員超過率 B/A	(-) 0.88	()	()		

農水圏資源環境科学専攻（博士後期課程）

報告年度 区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	(-) 8	/	/	2.00	
志願者数	(-) 16	/	/		
受験者数	(-) 16	/	/		
合格者数	(-) 16	/	/		
B 入学者数	(-) 16	/	/		
入学定員超過率 B/A	(-) 2.00	/	/		

(注) 1 () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

生物生産科学専攻（博士後期課程）

報告年度 学 年	平成21年度	平成22年度	平成23年度	備 考
1年次	[8] 10	/	/	
2年次	[-] -	/	/	
3年次	[-] -	/	/	
計	[8] 10	/	/	

応用生命科学専攻（博士後期課程）

報告年度 学 年	平成21年度	平成22年度	平成23年度	備 考
1年次	[3] 7	/	/	
2年次	[-] -	/	/	
3年次	[-] -	/	/	
計	[3] 7	/	/	

農水圏資源環境科学専攻（博士後期課程）

報告年度 学 年	平成21年度	平成22年度	平成23年度	備 考
1年次	[9] 16	/	/	
2年次	[-] -	/	/	
3年次	[-] -	/	/	
計	[9] 16	/	/	

(注) 1 [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

生物生産科学専攻（博士後期課程）

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 [0] 0	計 [8] 10	[0%] 0%
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 10人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			

応用生命科学専攻（博士後期課程）

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 [0] 0	計 [3] 7	[0%] 0%
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 7人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			

農水圏資源環境科学専攻（博士後期課程）

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 [0] 0	計 [9] 16	[0%] 0%
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 16人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人		
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<連合農学研究科 生物生産科学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科 共通科目	農学特別講義Ⅰ（一般セミナー）	1, 2	2			31 37	25 26				退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)
	農学特別講義Ⅱ（特別セミナー）	1, 2		2		31 37	25 26				退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)
専門分野 科目	熱帯資源・植物生産科学特別講義	1, 2		1		12 15	14 12				教授にあつては後任補充が未完了のため。准教授にあつては教育体制充実のため2名を追加採用(21)
	熱帯資源・植物生産科学特論	1, 2		1		12 15	14 12				
	動物資源生産科学特別講義	1, 2		1		9 10	6 8				後任補充が未完了であつたことと、転出や理事就任に伴う減が生じたため(21)
	動物資源生産科学特論	1, 2		1		9 10	6 8				
	地域・国際資源経済学特別講義	1, 2		1		10 12	5 6				後任補充が未完了であつたことと、理事就任に伴う減が生じたため(21)
	地域・国際資源経済学特論	1, 2		1		10 12	5 6				
論文研究等 科目	熱帯資源・植物生産科学特別演習	1, 2	2			12 15	14 12				教授にあつては後任補充が未完了のため。准教授にあつては教育体制充実のため2名を追加採用(21)
	熱帯資源・植物生産科学特別研究	1, 2, 3	6			12 15	14 12				
	動物資源生産科学特別演習	1, 2	2			9 10	6 8				後任補充が未完了であつたことと、転出や理事就任に伴う減が生じたため(21)
	動物資源生産科学特別研究	1, 2, 3	6			9 10	6 8				
	地域・国際資源経済学特別演習	1, 2	2			10 12	5 6				後任補充が未完了であつたことと、理事就任に伴う減が生じたため(21)
	地域・国際資源経済学特別研究	1, 2, 3	6			10 12	5 6				
	広領域 科目	国際農学特別講義	1, 2, 3		1		31 37	25 26			
人材養成学生支援セミナー		2		1		31 37	25 26				退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 7	科目 9	科目 0	科目 16	科目 7	科目 9	科目 0	科目 16	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--	--

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	0
設置時の計画の授業科目数の計	16		

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<連合農学研究科 応用生命科学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科 共通科目	農学特別講義Ⅰ（一般セミナー）	1, 2	2			25 34	22 26				退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)
	農学特別講義Ⅱ（特別セミナー）	1, 2		2		25 34	22 26				退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)
専門 分野科目	生物機能化学特別講義	1, 2		1		9 10	6 7				退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)
	生物機能化学特論	1, 2		1		9 10	6 7				
	食品機能科学特別講義	1, 2		1		9 14	8 9				退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)
	食品機能科学特論	1, 2		1		9 14	8 9				
	先端応用生命科学特別講義	1, 2		1		7	10				退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)
	先端応用生命科学特論	1, 2		1		7	10				
論文 研究等科目	生物機能化学特別演習	1, 2	2			9 10	6 7				退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)
	生物機能化学特別研究	1, 2, 3	6			9 10	6 7				
	食品機能科学特別演習	1, 2	2			9 14	8 9				退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)
	食品機能科学特別研究	1, 2, 3	6			9 14	8 9				
	先端応用生命科学特別演習	1, 2	2			7	10				退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)
	先端応用生命科学特別研究	1, 2, 3	6			7	10				
広 領域 科目	国際農学特別講義	1, 2, 3		1		25 34	22 26				退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)
	人材養成学生支援セミナー	2		1		25 34	22 26				退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 7	科目 9	科目 0	科目 16	科目 7	科目 9	科目 0	科目 16	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	0
設置時の計画の授業科目数の計	16		

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<連合農学研究科 農水圏資源環境科学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通科目	農学特別講義Ⅰ（一般セミナー）	1, 2	2			43 50	32	1 2	1 0		退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)
	農学特別講義Ⅱ（特別セミナー）	1, 2		2		43 50	32	1 2	1 0		退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)
専門分野科目	生物環境保全科学特別講義	1, 2		1		15 19	9 10	1	1 0		退職・転出教員の後任補充が未完了であったことと、昇任、新規採用に伴う変動(21)
	生物環境保全科学特論	1, 2		1		15 19	9 10	1	1 0		
	地域資源環境工学特別講義	1, 2		1		13 15	12				退職・転出教員の後任補充が未完了であったことと、昇任に伴う変動(21)
	地域資源環境工学特論	1, 2		1		13 15	12				
	水産資源環境科学特別講義	1, 2		1		15 16	11 10	0	1		退職・転出教員の後任補充が未完了であったことと、昇任に伴う変動(21)
	水産資源環境科学特論	1, 2		1		15 16	11 10	0	1		
論文研究等科目	生物環境保全科学特別演習	1, 2	2			15 19	9 10	1	1 0		退職・転出教員の後任補充が未完了であったことと、昇任、新規採用に伴う変動(21)
	生物環境保全科学特別研究	1, 2, 3	6			15 19	9 10	1	1 0		
	地域資源環境工学特別演習	1, 2	2			13 15	12				退職・転出教員の後任補充が未完了であったことと、昇任に伴う変動(21)
	地域資源環境工学特別研究	1, 2, 3	6			13 15	12				
	水産資源環境科学特別演習	1, 2	2			15 16	11 10	0	1		退職・転出教員の後任補充が未完了であったことと、昇任に伴う変動(21)
	水産資源環境科学特別研究	1, 2, 3	6			15 16	11 10	0	1		
広領域科目	国際農学特別講義	1, 2, 3		1		43 50	32	1 2	1 0		退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)
	人材養成学生支援セミナー	2		1		43 50	32	1 2	1 0		退職・転出教員の後任補充が未完了のため(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	9	0	16	7	9	0	16	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	0
設置時の計画の授業科目数の計	16		

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	鹿児島大学							備考			
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地			
	年	人	年次人	人		倍					
法文学部						1.06		鹿児島市郡元1丁目21-30	※法文学部編入学定員は学部全体の定員で各学科収容定員の外数		
法政策学科	4	95		380	学士(法学)	1.08	平成9年度				
経済情報学科	4	145		580	学士(経済学)	1.07	平成9年度				
人文学科	4	155		620	学士(文学)	1.05	昭和54年度				
			3年次 10	20							
教育学部						1.04		鹿児島市郡元1丁目20-6	平成19年に養護学校教員養成課程から名称変更		
学校教育教員養成課程	4	225		900	学士(教育学)	1.04	平成9年度				
特別支援教育教員養成課程	4	15		60	学士(教育学)	1.04	昭和49年度				
生涯教育総合課程	4	35		140	学士(教育学)	1.09	平成9年度				
理学部						1.04		鹿児島市郡元1丁目21-35			
数理情報科学科	4	40		160	学士(理学)	1.05	平成9年度				
物理科学科	4	45		180	学士(理学)	1.05	平成9年度				
生命化学科	4	50		200	学士(理学)	1.03	平成9年度				
地球環境科学科	4	50		200	学士(理学)	1.03	平成9年度				
医学部			2年次 10			1.00		鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1	※医学部編入学定員は各学科収容定員の内数		
医学科	6	95		570	学士(医学)	1.01	昭和30年度				
保健学科			3年次 10			1.01	平成11年度				
看護学専攻	4	80		340	学士(看護学)	1.00					
理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士(保健学)	1.01					
作業療法学専攻	4	20	5	90	学士(保健学)	1.02					
歯学部						1.00		鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1			
歯学科	6	55		330	学士(歯学)	1.00	昭和52年度				
工学部						1.05		鹿児島市郡元1丁目21-40	※工学部編入学定員は学部全体の定員で外数		
機械工学科	4	94		376	学士(工学)	1.03	昭和30年度				
電気電子工学科	4	78		312	学士(工学)	1.07	平成4年度				
建築学科	4	55		220	学士(工学)	1.04	昭和30年度				
環境化学プロセス工学科	4	35		35	学士(工学)	1.05	平成21年度				
海洋土木工学科	4	48		192	学士(工学)	1.04	平成4年度				
情報生体システム工学科	4	80		80	学士(工学)	1.00	平成21年度				
化学生命工学科	4	50		50	学士(工学)	1.04	平成21年度				
応用化学工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成3年度				
情報工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成元年度				
生体工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度				
			3年次 20	40							
農学部						1.07				鹿児島市郡元1丁目21-24	
生物生産学科	4	80		320	学士(農学)	1.06	平成2年度				
生物資源化学科	4	60		240	学士(農学)	1.06	平成2年度				
生物環境学科	4	65		260	学士(農学)	1.03	平成2年度				
獣医学科	6	30		180	学士(獣医学)	1.07	昭和24年度				
水産学部						1.04		鹿児島市下荒田4丁目50-20			
水産学科	4	130		520	学士(水産学)	1.03	昭和50年度				
水産教員養成課程	4	10		40	学士(水産学)	1.10	昭和29年度				

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。

4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<連合農学研究科 生物生産科学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
63	0	63	0	56	4	60	0	
()	()	()	()	[△ 7]	[+4]	[△ 3]	[0]	

<連合農学研究科 応用生命科学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
57	0	57	0	47	4	51	0	
()	()	()	()	[△ 10]	[+4]	[△ 6]	[0]	

<連合農学研究科 農水圏資源環境科学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
84	0	84	0	77	9	86	0	
()	()	()	()	[△ 7]	[+9]	[+2]	[0]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合：△1）

5 その他全般的事項

＜連合農学研究科 生物生産科学専攻、応用生命科学専攻、農水圏資源環境科学専攻＞

情報提供に関する事項

① 設置計画書等

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成21年 9月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画書等」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://hh.kuas.kagoshima-u.ac.jp/jkougai/johokougai.htm#jyohokokai>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成21年 9月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://hh.kuas.kagoshima-u.ac.jp/jkougai/johokougai.htm#jyohokokai>)

(注) 「情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secci@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。